

事業所名

姫路市立こども発達支援センター（児童発達）

支援プログラム

作成日

R7

年

2月

25日

法人（事業所）理念		ノーマライゼーションとリハビリテーションの理念に基づき、障害のある人たちのそれぞれのライフステージに必要なサービスを提供するとともに、障害のある人たちが地域社会の中でいきいきと生活できる支援を総合的に提供します。									
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> 一人一人の特性や育ちに配慮しながら、基本的な生活習慣や遊び、コミュニケーションなど個々に応じた目標に添って保育を行います。豊かな経験の中で、子どもが生活や遊びの主体となり、意欲を育めるよう支援します。 保護者が子どもの特性や困り感を理解し、家族みんなが生活しやすくなるように、それぞれの家庭にあった子育ての工夫を保護者とともに考えます。また、保護者同士の交流や情報提供の機会を通して保護者が主体的に子育てに向き合えるよう支援します 地域の関係機関と連携協力し、親子が健やかにあたりまえに地域生活を送れるよう支援します。 									
営業時間		月～金	9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	（別途、利用規約に基づき送迎を実施します）
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<p>○毎日通園を基本として、保育を基盤とした日々の積み重ねを大切にします。</p> <p>○子どもの年齢や特性に合わせて通園の形態や、通園日数を柔軟に設定します。</p> <p>○安全においしく、楽しく食事にむかえるように、食べる機能に合わせた6段階の食形態で給食を提供します。偏食、アレルギー、栄養指導など個々に応じた対応で、幼児期の食生活の広がりをサポートします。</p>									
	運動・感覚	<p>○体操や触れ合い遊びを通して、大人にしっかり触ってもらうことで自分の身体に気づいたり、体の力を抜いて安心して活動を楽しめるようにしていきます。</p> <p>○遊びの中でさまざまな動きを取り入れながら、活動に身体を合わせていく経験（くぐる、わたる、よじのぼる、すべる、とぶなど）を積み重ねていきます。また、安定して活動に参加できるように、活動に応じて必要な器具を使用します。</p> <p>○好きな遊びや感覚を十分満足できるまで保障していきます。</p> <p>○感触遊びをとおして、さまざまな感触に気づいたり、好きな感触や感覚を取り入れて遊びを展開していきます。</p> <p>○安心して落ち着いて取り組むことで、遊びの幅が広がるように、環境を整えていきます。（イヤマフ、手拭きタオル、シンプルな環境作りなど）</p>									
	認知・行動	<p>○季節に応じた遊びや伝統的な行事を体験するなど、実体験を重ねて豊かな経験となるようにし、子どもが生活や遊びの主体となり、意欲を高められるよう支援します。</p> <p>○一人一人の特性や育ちに配慮しながら、保育所・こども園等で経験する保育内容を、その子どもにとってわかりやすく実感できる方法で経験できるように工夫し、子どもが意欲的に取り組めるようにします。初めて経験することは楽しめる場面からスモールステップで丁寧に積み重ね「好き」や「知っている」が増えていくようにします。</p>									
	言語コミュニケーション	<p>○信頼する大人に気持ちを受け止めてもらいながら自分の思いを伝える経験を積み重ね、人に伝えようとする気持ちを育みます。</p> <p>○自分の思いをいろいろな方法で表現できるように丁寧に受け止めて、気持ちを通わせる心地よさが感じられるようにします。</p> <p>○ジェスチャーや非言語コミュニケーションなど、ひとりひとりに応じた方法を獲得できるよう支援します。自分の希望や要求を身振り・絵カード・写真・簡単な言葉などで相手に伝えられるように大人がモデルを示します。</p> <p>○本人からの発信・要求・気持ちの表出に大人が出来る限り応えることで相手に伝わる喜びを感じられるようにします。</p>									
	人間関係社会性	<p>○信頼できる大人に支えてもらいながら、家族以外の大人とも楽しく遊べる経験ができるようにします。</p> <p>○大人を介して友だちと楽しい時間を共有するなど、小さな集団の中で安心して過ごせる経験となるようにします。</p> <p>○当番活動など役割を持って活動する機会を設けます。役割に取り組むなかで、感謝されたり認められたりすることを重ね、自己肯定感を高めていけるようにします。</p>									
家族支援		保護者が子どもの特性や困り感を理解し、家族みんなが生活しやすくなるように、それぞれの家庭にあった子育ての工夫を保護者とともに考えます。また、保護者同士の交流や情報提供の機会を通して保護者が主体的に子育てに向き合えるよう支援します。家族が参加できる行事も取り入れています。				移行支援		就園、就学先に安心して移行できるよう交流保育や並行通園、先輩保護者座談会、5歳児保護者活動、よろず教育相談会など、様々な方法で進路に関する情報提供を行います。検討する段階から、移行後のフォローまで丁寧にいきます。			
地域支援・地域連携		地域の関係機関と連携協力し、親子が健やかにあたりまえに地域生活を送れるよう支援します。				職員の質の向上		系統立てた内部研修の実施や、外部研修を受講し、業務に関する専門知識を深めることや保育の専門性を高めます。また、定期的に多職種での学習会を行い、子どもの理解や多角的な視点を養います。			
主な行事等		入園・始業式 家族ふれあいデー 保育参加日 七夕会 プールあそび きょうだい参加日 うんどうかい もちつき クリスマス会 お正月あそび 豆まき お別れ会 修了式 園外保育 家庭訪問 健康診断 歯科健診 保護者勉強会 卒園児招待 卒園児保護者座談会 引き渡し訓練									